

私はアマテラスのエネルギー - そのものでした。アマテラスのエネルギー - の中にすっぽりとはまっている感じです。なぜ田池留吉が今世肉を持った所がこの日本の国であるのか、そして同じ時期に私もまた転生を許されたのかということが、何となく分かるような気がします。この地球上においてももちろんだけど、私はそれ以前宇宙時代においてもこのアマテラスのエネルギー - に翻弄され続けてきました。田池留吉に心に向けることを知らなかったから、そのエネルギー - の渦の中にはまり込んできたから、だから少しも苦しくありませんでした。だけど田池留吉の波動の中でその思いに心に向けるとたちまちそのエネルギー - の苦しさが浮き彫りにされます。そして自分の存在を脅かす田池留吉に対して、恐怖と怒りを感じます。私のエネルギー - の方が大きい、私の方が力がある、田池なんかくそっ食らえだ、お前になんか負けるか、お前になんか屈さない、そうやって苦しみの中をのた打ち回りながら己、己、己の力を誇ろうとする心がどんどん出てきます。我一番の思いです。私はずっとずっと過去からこのエネルギー - を流し続けてきました。宇宙を支配する闘争と破壊のエネルギー - を流し続けてきました。田池留吉から流れる思いは、そんなエネルギー - の固まりである私の心に伝えてくれます。

「あなたも神の子ですよ、私とともに歩いていってください。私はあなたを愛しています。あなたを愛していますよ。あなたは許されていますよ。ありがとう、ありがとう、ありがとう。」